

【プレスリリース】

2018年3月28日

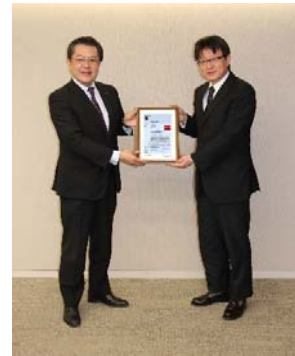
テュフ ラインランド ジャパン株式会社

テュフ ラインランド、

ロームに自動車向け機能安全規格「ISO 26262」の開発プロセス認証を発行

～同規格の最高水準の安全度(ASIL-D)でのデバイス開発に対応可能～

テュフ ラインランド ジャパン株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:トビアス・シュヴァインフルター)は、テュフ ラインランド(ドイツ)がローム株式会社(本社:京都府京都市、代表取締役社長:澤村 諭)に対し、自動車向けの機能安全規格\*1である「ISO 26262\*2」の開発プロセス認証を発行したことを、本日発表しました。これは、ロームの車載向けデバイスの開発プロセスが、同規格の最高レベルの安全度水準となる「ASIL-D」まで対応することが可能であることを証明するものです。



右:ローム株式会社 LSI本部 商品開発担当 統括部長 金井 延浩 様  
左:テュフラインランド ジャパン株式会社 運輸・交通部 部長 有馬 一志

### 自動車の機能安全規格「ISO 26262」

「ISO 26262」は、自動車の電子化や高機能化に伴い、グローバル市場において自動車の安全性能に対する要求が高まる中、業界標準の機能安全に関する国際規格として 2011 年に策定されたものです。近年は、ADASに代表される技術革新が加速し、自動車の安全性を担保するには、車載部品を構成する半導体レベルでの安全目標の達成が求められており、2018 年には同規格において半導体パートも追加される見込みです。

### ISO 26262 第三者認証について

ISO 26262 の認証は、製造メーカーによる自己認証という方法もあります。しかし自己認証の場合、ISO 26262 の知識を十分に有しているのか、ISO 26262 に完全に対応した製品になっているのかどうかの証明を客観的に行うのが難しいのが現状です。したがって、中立な第三者認証機関による認証を取得することで市場とユーザーに対して有利な立場に立つことが可能になります。ISO 26262 の第三者認証機関により認証を受けることで、設計開発段階から ISO 26262 の要求を間違いなく満たしていることが証明されます。

**\*1 機能安全**

機能安全とは「監視機能や診断機能などの安全機構によるリスク低減策」であり、安全方策(安全を確保するための考え方)の1つである。自動車分野における機能安全は、電子システムの故障などにより機能不全が発生した場合に、人体への危害を発生させないようにリスクを受け入れられるレベルまで減らして安全にすることである。自動車機能安全規格としてISO 26262がある。一方、ICで良く言われる保護機能は、IC自身の破壊や誤動作をIC内部でモニタリングし、IC自身の安全を確保する機能である。

**\*2 ISO 26262**

2011年11月に正式発行された車載電子制御の機能安全に関する国際規格。車載電子制御において故障のリスクを算出し、そのリスクを軽減する仕組みを機能の一つとしてあらかじめシステムに組み込む「機能安全」を実現するための開発プロセスを標準化したもの。車両の構想からシステム、ECU、組み込みソフトウェア、デバイス開発、およびそれらの生産・保守・廃棄に至るまで、車両の開発ライフサイクル全体が対象となる。

**【テュフラインランドグループについて】**

テュフラインランドは、140年の歴史を持つ世界でもトップクラスの第三者検査機関です。世界中に拠点をもち、従業員数は19,700人、年間売上高は19億ユーロにのびます。第三者検査のエキスパートとして、人々の暮らしのあらゆる面で、品質、安全、環境、テクノロジーを支えています。産業用装置や製品、サービスの検査だけでなく、プロジェクト管理や企業のプロセス構築もサポートしています。また幅広い業種、職種について、専門的なトレーニングも実施しています。こうしたサービスは、テュフラインランドの認定ラボや試験設備、教育センターのグローバルネットワークによって支えられています。テュフラインランドは、2006年より国連グローバル・コンパクトのメンバーとして活動しています。ウェブサイト：[www.jpn.tuv.com](http://www.jpn.tuv.com)

**【報道関係者からのお問い合わせ先】**

テュフラインランド ジャパン株式会社

マーケティング部広報課 井田 美穂、吉家 由貴子

E-mail: [pr@jpn.tuv.com](mailto:pr@jpn.tuv.com) Tel: 045-470-1860